

注射薬配合変化チェックDB（拡大版）

■ 概要

- ・ 注射薬の配合試験情報に関するデータベースです。
- ・ 医薬品インタビューフォームなどの配合変化資料に基づき、配合変化情報をデータ化しています。
- ・ 2剤間における配合変化を対象（3剤以上の配合はデータ対象外）としています。

■ 特徴・機能

- ・ 外観、pH、残存率の変化を独自の基準で“変化レベル”として登録しています。
- ・ “変化レベル”を用いた配合変化チェックが可能です。
 - ※ 配合・保存条件などによって結果が異なることが予測されます。
配合試験結果の情報をもとに処方チェックを行うものであり、配合を保証するものではありません。

■ 目的・利用場面

- ・ 病棟・外来・医薬品情報室において、注射薬調製時の配合変化情報の参照用にご利用いただけます。
- ・ 薬剤部門システムにおいて、注射処方箋のチェックにご利用いただけます。

■ システム、Web等での表示例

処方例	
医薬品名	
コアテック注5mg	
ホリゾン注射液10mg	



(A)コアテック注5mg
(B)ホリゾン注射液10mg

総合判定：製薬会社配合可否判定→配合不可

【外観変化：あり】配合直後微黄色白濁

試験方法：＜保存条件＞室温・室内散光下

＜試験項目＞外観、pH、オルプリンオン塩酸塩水和物残存率（%）

＜観察時間＞配合後24時間

配合方法：コアテック注5mg [1A] に配合薬剤を配合。

配合薬剤：ホリゾン注射液10mg

参考文献：医薬品インタビューフォーム

[2024年4月改訂（第13版）] P. 40～46